

学校教育目標
「自ら考え
共に輝く」

共に輝く

学校だより No.13
2022年(令和4年)12月8日
福山市立旭丘小学校

新たな価値を見出すことが自信につながる!

～けん玉に失敗はないんだよ～



12月に入り、寒さが急に厳しくなりました。手袋やネックウォーマーなどの防寒具をつけて登校する子ども達も増えてきました。寒さに負けず、元気に2学期を乗り切りたいものです。

12月1日、日本けん玉協会西広島支部長の砂原宏幸さんを講師にお迎えして、けん玉出前教室が行われました。本校では、子ども達が休憩時間にけん玉の様々な技を友達と練習したり、友達に技を披露したりする姿がよく見られます。それだけに、けん玉出前教室に参加した子ども達一人一人が目を輝かせていました。

けん玉出前教室に参加した4年生～6年生の感想を一部紹介します。

- 砂原先生が「けん玉には、失敗がないんだよ。」と言われて安心しました。砂原先生のおかげで、けん玉に興味がもてました。
- けん玉は、どんなところに玉がのっても名前をつけたら技になることが分かって、けん玉がもっと楽しくできるようになりました。
- けん玉名人の砂原さんが、子ども達と考えた技や砂原さんが考えた技が面白かったです。私も自分だけの技をつくってみたいです。
- 砂原先生にけん玉のこつを教えてもらって、前からできなかった技ができるようになったのでうれしかったです。



先日、教室を回っていると、ある1年生が生活科の時間に「この毛糸、色水に浸けるとピンクにできるよ。さっき間違っって色水に落としたら、ピンクになったからこの方法を思いついたよ。」と教えてくれました。こんな柔軟な発想のできる子どもが育っていることに嬉しくなりました。

まさに、砂原さんの「けん玉は、玉が皿にのらなくても失敗ではなく、自分だけの技として名前を付けることで自信がもてる。」という言葉とつながると実感しました。

これまで失敗や間違いと捉えていたことに新たな価値を見出すことで、子ども達の自信や意欲につながる取組を進めていきたいです。

2022年(令和4年)を振り返って...

今年も、その年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が、12月12日清水寺で発表されます。28回目となる「今年の漢字」は、どんな漢字なのでしょう。そこで、一足早く各学級の「今年の漢字」を子ども達に尋ねてみました。それぞれの学級のこの1年の子ども達の思いや願い、そして成長が感じられます。

1年A組

根

入学してからたくさん
のことを学び、考え、力を
付けてきたから!

1年B組

楽

小学校での初めての
勉強が楽しかった
から!

2年A組

晴

2Aは、晴れた空の
ように心優しいクラス
だから!

2年B組

考

みんなががんばって
勉強して、たくさん
考えることができたから!

なのはなA組

花

初めて女の子が入学して
きて、教室が花が咲いた
ように明るくなったから!

なのはなC組

花

みんな花が好きだし、
ローズガーデンにばら
がいっぱいだから!

今年の漢字 ～学級編～

なのはなB組

旅

社会見学にも行けたし
校外学習や家族での遠出も
できた1年だったから!

3年A組

嬉

みんなで助け合って、
楽しく、明るく、元気に
学べて嬉しかったから!

4年A組

心

仲間と様々な事を乗り
越えるために心一つに
頑張ってきたから!

4年B組

進

どんな時でもみんなで
協力して立ち止まらず
進んできたから!

5年A組

笑

いつも教室に笑顔が
あふれていたから!

5年B組

成

多くの活動をみんなで
成しとげ、支え合い共に
成長しようとしてきたから!

6年A組

笑

みんなてたくさん
笑って、楽しく行事や
授業をしたから!

6年B組

絆

みんなで協力して、楽しく
個性を出して、学校のために
動くことができたから!